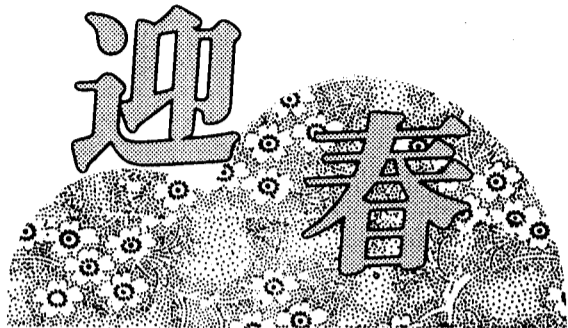


うたごえ新聞

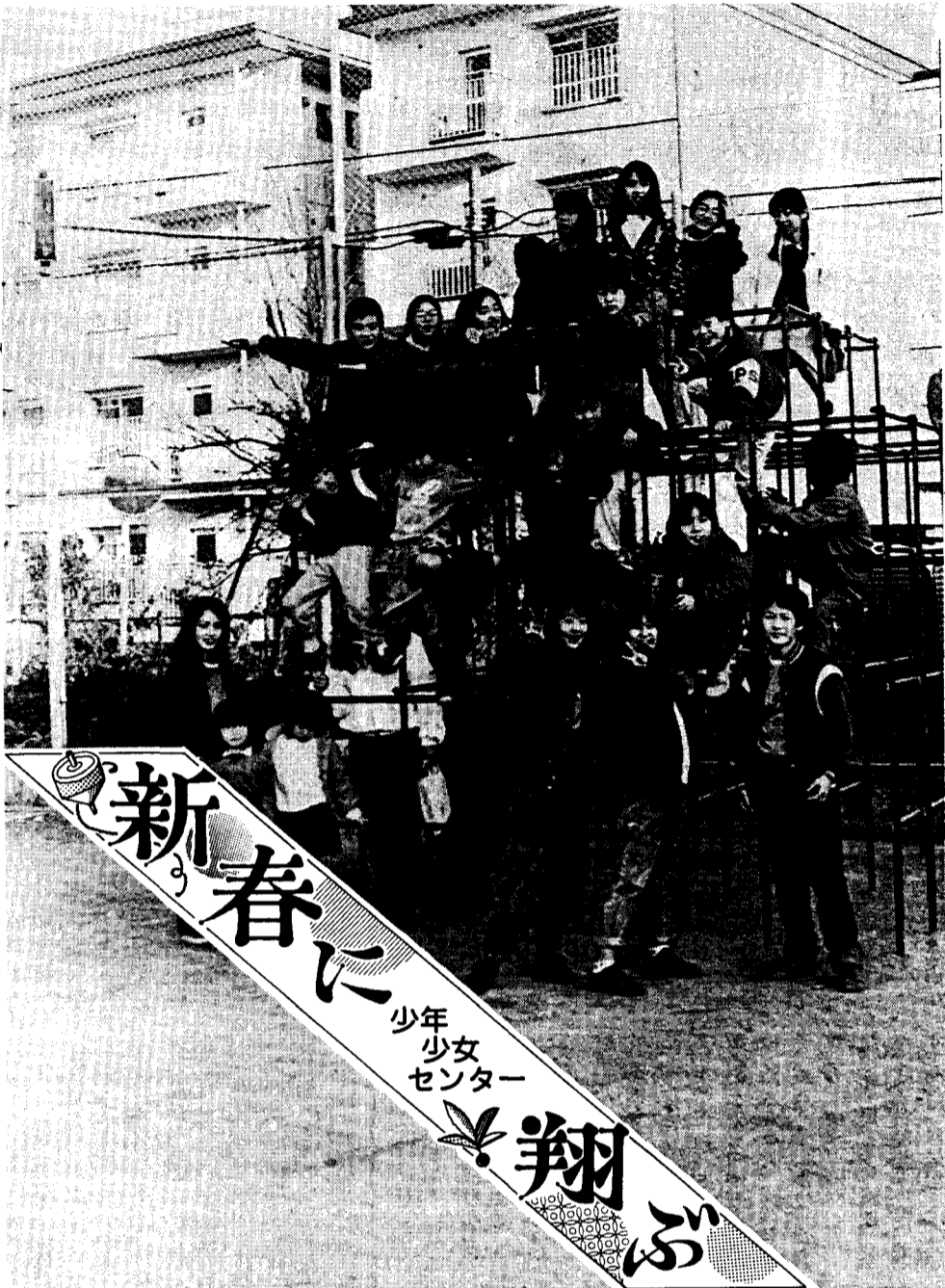
1/2・9
(1989年)
NO.1238

THE SINGING VOICE OF JAPAN

日本のうたごえ全国協議会機関紙
うたごえ新聞社
〒169 東京都新宿区大久保2-16-36
☎ 03 (209) 0638 FAX 03 (200) 0105
振替口座 東京2-5631 毎週月曜日発行
1部120円(〒25円)・月480円(〒120円)



調布市・くすのぎ少年団



一四〇〇の輝く瞳が

新春に 少年少女センター 翔ぶ

いろいろな所で——タンバリンのリズムに乗って、のどが枯れてもたっとうたっとうたいまくった。
そして、みんなで約束——
「来年の二月、今度は武道館で、またみんなとうたおう」と。
四十周年祭典、そのオープニングは少年少女東京センターが近頃の子どもたちにも参加を呼びかけての大合唱。
「大きなステージで、大勢の人を前にしてうたう機会なんてめったにありません。ぜひそんな体験を子どもたちに……」(調布市の木少年団・やしの木少年団指導員・清水雅人さん)
約束の 때가 やって来るのは、もうすぐだ。
みんなが集まる。武道館に集まる。元気な仲間が集まって、七百人の大合唱——、四〇〇の瞳が、輝く時を待っている。

そんな中で、みんなはいつもうたっていた——行き帰りのバスの中、集い、キャンプ、ファイヤー……いろいろな時

文・速藤元泰通信員
写真・久保田和彦氏

外は北風、寒い風……。その中を白い息を弾ませながら、いつもの仲間が顔をそろえる。
「サァ、歌で寒さを吹き飛ばそう」。腹の底から大声出せば、不思議に心も体もホッカホカだ。
うたっと思って出るのは、あの時のこと——そう、都内の少年団の仲間が集まった夏のキャンプだ。
みんながそれぞれの智慧と力を出し合い、助け合って過ごした三日間。マンガや冒険小説の中だけなのだと思っていた世界がそこにはあった。



作家、クレヨンハウス代表

新春インタビューはこの人 落合恵子さん

記事7面

全国から参加してね！
東京、関東の少年団の子どもたち八百人が集まった、昨年の第十七回少年少女センターが主催し、今回もキャンプ・ファイヤーでの大合唱がクライマックスでした。
このキャンプのふんい気をそのまま、日本のうたごえ祭典大音楽会(日本武道館、2月5日)のオープニングに持ちこもうと、同センターは準備しています。
「うたいたいくなった子どもは、好き勝手に舞台上がってきて下さい。知らない歌も手拍子でいいよ」と、少年少女東京センター専従者の宿利(しゅくり)秀海さん(24歳)は呼びかけています。
うたうのは「バラはあこがれ」「陽気に生きようこの人生を」と、小平市の指導員が創った「気分は最高」、そして板橋区の子どもたちと指導員による「スマールファイヤー」。
大音楽会の開会前、近くの千代田公会堂にいったん集まり、この四曲を含めて思いっきりうたい交わります。
武道館にのりこみます。知らない歌を覚えた人は、千代田公会堂から来てくれれば、いい、とのこと。
問「〇三・三七九・七四七九同センター・宿利。大音楽会でのうたごえのうたい方や練習テープ、歌集のお問い合わせはこちらまで。」

◆日本のうたごえ祭典100人を誘います(新婦人・板橋あじさい) 2面◆

浜島幹事長新春に語る 3面 ◆京都に7つ目の中心合唱団誕生——伏見うたごえ合唱団/銀河、4面 ◆長野・松代大本営は語る——主権在民と天皇を問う 5面 ◆新春インタビュー 落合恵子さんに聞く 6・7面 ◆ベトちゃん、ドクちゃん、の発達を願う会(中日本企画) 10面 ◆キューバ革命30年とヌエバトロバ、(八木啓代) 11面 ◆海外から、あけましておめでとう——フィンランド、アメリカ、カナダ、朝鮮、ソビエト、メキシコ、キューバ、チリ、ペルー、エルサルバドル 12面

最後の一月、祭典の成功は、一つひとつの企画における合同練習会をしっかり積み重ね、音楽として立派に花咲かせる以外にない。
☆ ☆ ☆
記念祭典を組織的にも内容的にも立派に成功させて、東京のうたごえは、新しい年を迎える。うまい酒が飲めるのを楽しみに最後のガンバリ。(度)

ふめだ
この武道館で四十周年祭典が二十年前に開催される。運動の最盛期に、ここで二日間、三回にわたって開催され、数々の思い出とうたごえ運動の確信を深めたなつかしい場所。
四十周年祭典は再び日本武道館に帰ってくる。
☆ ☆ ☆
この一年、開催地東京は、冬から春へ、そして夏・秋とフルマラソンのごどくかけずりまわり、プレ企画をはじめ、数々の運動を積み重ねてきた。
☆ ☆ ☆
祭典が、参加者一人ひとりの胸の中にどのように感動的な舞台をうけひり出せるかと思つと、その責任の重さを痛感する。祭典事務局もいよいよ、泊りこみ体制に。
この一年、東京をはじめ全国で積み重ねた運動を、合唱発表会、創作スクラムコンサート、特別音楽会、そして大音楽会に実らせると思つと、苦勞して運動を行なってきたうたごえ活動家のみなさん、楽しんでください。
☆ ☆ ☆